



マグネシウム・ソレイユ・プロジェクト

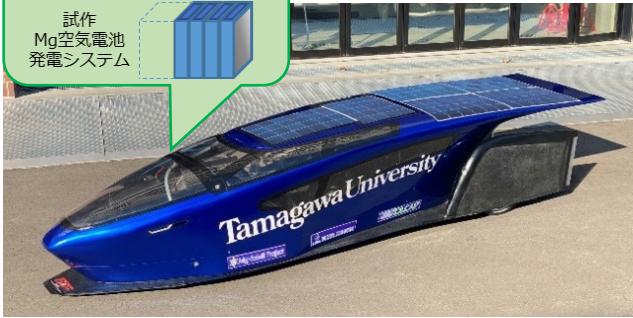
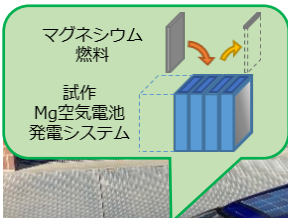
「21世紀に地球が直面する最も大きな課題は、持続可能な方法でエネルギーを生産し、消費しなければならないということです。その方法として、エネルギーキャリアとして注目されるマグネシウムを製錬し、合金を生産し、これを軽量の構造材として活用した後に、電池として利用することが有望視されています。自然エネルギーなどが余ったときに、そのエネルギーを用いてマグネシウムのリサイクルを行うことは、エネルギーを貯蔵することと同じで、さらに付加価値が上がります。私たち協議会はマグネシウムに限らず、今後、エネルギーキャリアとなる素材を循環システムに位置付け、国内だけでなく世界中のどこでも、公平なテーマとして扱いができるよう啓発活動を推進しながら構築・実現していくことで、地球環境の維持保全に貢献して行きます。」



我々はEVに搭載するエネルギーの多様性を提案しています。

東海大学：木村英樹 教授（マグネシウム・ソレイユ・プロジェクトEV部会）

玉川大学：斉藤純 准教授（マグネシウム・ソレイユ・プロジェクトEV部会）



玉川大学のマグネシウムで走るハイブリッド・ソーラーカー

東海大学のソーラーカー：自己完結型のEVです。

Green Power Supply Systems Project

ファーストステップ：「マグネシウム製錬実証試験設備の構築」

日本独自のマグネシウム生産拠点の確立



久米島・海洋深層発電所からの発電エネルギーと再エネ及び余剰時の電力を蓄電した電力を上手に利用した世界初の「グリーンピジョン法」、「マイクロ波ピジョン法」、「ヒムタン熱還元法」及び「グリーン電解法」による国内独自の技術で国内初のマグネシウム生産実証を実現する。

計画中

2022年3月に計画していましたが、新型コロナパンデミックの為、中止して決定させていただきました。

2022ワールド・エコ・ムーブ・グランプリ最終戦予定(約出場30台)

2023年3月18日(土)から19日(日)

沖繩(久米島) ソーラーカーデモ走行予定(東海大、玉川大、工学院大)

<国内唯一の公道での開催>

2023. 3. 19. W.E.M.久米島 (グランプリ最終戦) 予定

開催予定：2023.03.18 (土) - 19 (日)

2011 (日) 「Mg Day in KUMEJIMA」RV 開催予定

久米島までの協議車両の運搬費負担(コンテナ費用)は内閣府他にて検討中です。

(東京、大阪、那覇から)

久米島町のホームページは次の通りです。

<http://www.town.kumejima.okinawa.jp/>

コース等については

石狩市で一回 1.8kmでの総周回数に突ノボりとしての追加ポイントを追加しての記録を競う。

※追加ポイントについては技術・環境に則するものとして検討中

〒901-3105 沖縄県島尻郡久米島町宇留414 水産加工施設周辺



デモ走行として参加予定のソーラーカー・車両(左から)：玉川大学、東海大学、工学院大学



一般社団法人マグネシウム循環社会推進協議会

約40団体他加盟

<http://www.soleil-energy.jp>

*2018年2月より社団法人

代表理事：熊谷枝折（事務局兼電池部会長） s-kumagai@soleil-energy.jp 会長：坂本満（兼合金部会長）

製錬部会長：柴田浩幸、海洋エネルギー部会長：池上康之、応用部会長：柳川重男、EV部会長：木村英樹

事務局：高田賢一、前田雅彦

東北大学 先端材料技術開発センター マグネシウムソレイユプロジェクト 022-217-3884 (Tel/Fax)